

事務事業名	雲南市シルバー人材センター補助事業		所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	総務G	
	施策名	〈21〉高齢者福祉の充実		担当者名	板持 裕朗	
	目的・対象	65歳以上の市民	意図	生きがいをもち、住み慣れた地域で安心して暮らす。		
	基本事業	〈062〉社会参加活動の推進		予算科目	0:1:1:5:0:1	0:5:2:0:7:6
目的・対象	65歳以上の市民	意図	地域とのつながりを持つ。			大事業名 地域福祉総務管理事業 中事業名 雲南市シルバー人材センター補助金

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
65歳以上の市民	生きがいをもち、いきいきと暮らす(高齢者が就労を通して、健康で豊かな老後を送れるようにする)。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき組織された(公社)雲南市シルバー人材センターが、就労の機会と場の提供を行うことにより、健康で豊かな老後の充実を図り、地域社会づくりに寄与することを目的に取り組む事業、活動に対して補助を行う。 会員の労働で得た収入の大半は賃金として会員に支払われるため、運営に係る人件費等を国と市が補助している。 また、間接支援として、会員・就業機会の拡大のための広報活動等の協力を行う。
④ 主な活動 R3年度実績(R3年度に行った主な活動) ・補助金交付 ・広報活動の支援	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 会員・就業機会の拡大につなげるため、広報誌掲載、文字放送の利用など、広報活動の支援に取り組んでいる。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 人材センター正会員数	人	428	436	454	495
イ 就業延人数	人	33,458	32,523	35,805	35,805
ウ 就業率	%	87.1	83.7	88.1	88.1
エ 作業契約金額	千円	198,225	194,807	205,085	250,000

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
事業運営に対する補助金:14,714千円(国と同額) 【財源:介護保険 保健福祉事業費負担金】	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円			8,002	8,302
	一般財源	千円	13,821	13,821	6,712	8,302
	事業費計	千円	13,821	13,821	14,714	16,604

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	会員数の増加が図られ、売上金額は県内第3位で、多くの高齢者が元気に就労されている。貴重な労働力として活躍していただいている上に、医療や介護の費用抑制に大きく貢献していただいているものと考えている。
② 事業実施するうえでの課題	高齢化が進行する中、働く意欲のある高齢者の就業機会を提供することは、生きがいの創造や個人収入に繋がっており、今後も継続的な支援が必要である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	会員増強及び就業拡大につながるよう、可能な範囲での支援を行う。